



## 医薬開発におけるAI・デジタル技術シンポジウム "DIA Cutting Edgeシリーズ"

# AI・デジタル技術の革新とヘルスケア産業の未来

## － 医療情報のコネクティビティと世界調和を考える －

2020年6月30日(火) 10:00～17:45

Web開催 (Webinar)

### プログラム委員長

株式会社インタープロフェッショナル  
冠 和宏

### プログラム委員

ヤンセンファーマ株式会社  
森谷 隆

Real World Data株式会社  
小澤 郷司

株式会社kimamani  
田中 圭

東京大学医科学研究所  
湯地 晃一郎

### DIA Japan Operation Team

北里大学大学院

金子 真之

昭和大学臨床薬理研究所  
山崎 太義

**COVID-19の影響を受け、当シンポジウムは  
Web (Webinar)で開催いたします。**

デジタル技術の進歩は、様々なイノベーション推進のドライバーとなっています。未曾有の変化を乗り越えるために、多方面においてイノベーション創出が急務となっており、ヘルスケア産業においても、医療データベースは、これまでのRCTの限界を補完するツールとして、ヘルスケアの価値や効率化のような新しい側面を見る化することに寄与することが期待されています。また、未来の医療を具体化していく際に必要不可欠な基盤となるのは、いかに医療データとその他のデータが繋がり・連動・作用し合い、医療と人の健康・生活に意義のあるアウトカムとサービスを産み出すかという「コネクティビティ」の実現です。そして、繋がり合ったデータを基に、画像技術や画像データの処理速度の向上や、診断精度の向上をもたらす、膨大な科学論文や文献情報に基づく治療アルゴリズム構築や治療計画の策定が支援されるなど、ヘルスケア産業における更なる進展への期待は益々大きくなっています。

また、昨今、製薬業界でも創薬から製造販売後まで幅広いエリアで人工知能の利活用が進んできました。一方では、「人工知能が人間の仕事を奪う」などのような脅威論も大きな話題となっています。ヒトには創造性や社会的知性という側面から、テクノロジーとの協働を主導する役割が期待されています。つまり、テクノロジーは本来、ヒトの能力を高めてくれるツールであり、ツールを使う目的が明確であるからこそ、ツール本来の力を発揮できるというもののようです。変化の激しい今、グローバルヘルスの未来を思い描いたときに、医療の価値や私たちの役割はどのように変わっていくのでしょうか。

DIA Japanでは、近年の注目トピックをテーマに、「Cutting Edgeシリーズ」と題してイノベーションを支える最新技術にフォーカスをあてたシンポジウムを企画・実行しています。昨年6月に開催しました「医薬開発におけるAI・デジタル技術の利活用の現状と未来」が大変好評であったこと、またAI・デジタル技術は継続的な議論が不可欠であることから、継続したシンポジウムとして開催していくことを決定いたしました。産業の成長促進や更なる技術革新を考えたとき、専門領域に関わらず、継続的なイノベーションの推進の原動力となり課題となるのは、いかにコネクティビティと世界協調を考えるかになります。そのためには、以下の項目が鍵となります。

- ① イノベーションのコアとなる技術革新を推し進めていくこと。
- ② 多様なステークホルダーとの協働によりテクノロジーの応用や新しい適用を模索し、更なる発展を推し進めること。
- ③ 人の役割やテクノロジーに求めることを整理しつつ、戦略的に課題解決を推進する担い手を育成すること。

本シンポジウムでは、各専門領域の第一線で活躍するエキスパートを招いて、臨床試験や市販後安全対策へのAI含めた革新的技術の適応事例、技術革新の世界潮流について、また生産性向上の視点や法整備、更には人材育成のトピックも含め、幅広いテーマについて産学官の皆様とディスカッションする場を提供します。皆様のご参加を心からお待ちしています。

本シンポジウムは日本語で開催いたします。

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

[DIAglobal.org](http://DIAglobal.org)

DIA

Nihonbashi Life Science Building 6F, 2-3-11 Nihonbashihoncho, Chuo-ku  
Tokyo 103-0023 Japan  
+81.3.6214.0574  
Japan@DIAglobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East & Africa | China | Japan | India

## 10:00-10:15 開会の挨拶

一般社団法人 ディー・アイ・イー・ジャパン  
西條 一

プログラム委員長 / 株式会社インタープロフェッショナル  
冠 和宏

## 10:15-12:45 セッション1

## コネクティビティと世界協調

座長

ヤンセンファーマ株式会社  
森谷 隆

株式会社Kimamani  
田中 圭

【繋がる (コネクティビティ) とその先の未来の世界調和】

未来の医療や社会・世界の調和を具体化していく際に必要不可欠な基盤となるのは、いかに医療データとその他のデータが繋がり・連動・作用し合い、医療と人の健康・生活に意義のあるアウトカムとサービスを産み出すかという「コネクティビティ」の実現です。一方、現実の社会 (特に日本) では、なかなかデータと異なる仕組み・システムを繋げることが難しい状況にあります。この課題に対して、異業種・異分野の目線から、または仕組み・システムが全く無いところから「ゼロ・ベースの発想で、新たな理想の医療や社会の仕組みを創造する」、このようなことに挑戦されている実践者の経験・想いを集約し、どのように「コネクティビティ」の実現を図り、より良い将来の医療や社会・世界を構築すべきか、未来志向で深く討論したい。

## 5G時代のビジネス協創

## ～さまざまなパートナーさまと創る未来～

株式会社NTTドコモ  
久保田 真司

## “つながる”ことの価値

アステラス製薬株式会社  
金山 基浩

ライフコースデータの構築に向けた戦い  
～医療分野における、リエンジニアリング～

Real World Data株式会社  
徳増 裕宣

## &lt;ショートブレイク&gt;

## 実用化可能な医療情報データベースとその先にある未来

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構  
宇山 佳明

## 患者さんにつながる臨床試験 - Conversational AI (対話型人工知能) とジオフェンシングの可能性 -

ヤンセンファーマ株式会社  
延山 宗能

パネルディスカッション  
本セッションの講演者

## 12:45-13:45 ランチブレイク

## 13:45-15:45 セッション2

AIやデジタル技術によるアプローチの今と未来  
(事例紹介)

座長

Real World Data株式会社  
小澤 郷司

ヤンセンファーマ株式会社  
森谷 隆

【イノベーションのコアとなる革新技術と臨床応用】

デジタルトランスフォーメーションにより現実世界と仮想世界を業界の垣根を越えて繋ぎ、それらを活用する。人々の健康に貢献する医薬業界もこの流れの中において、新たな価値の創造に必要な技術革新が常に求められている。その中心にあるのがAI・デジタル技術である。本セッションでは、AI・デジタル技術の最新動向・事例をレビューして、患者様・人々のために必要な医療に求められる次なるAI・デジタル技術を議論することで、将来の医薬品・医療機器開発の向かうべき方向を具体的に描写したい。

ITを活用した治験の未来と訪問型治験の実践から  
見えた課題・展望

日本イーライリリー株式会社  
宮崎 由美子

## 医療プラットフォームの臨床活用と医療機器・医薬品開発活用

株式会社アルム  
坂野 哲平

## AIを用いた新時代の医療システムを活用した治験及び育薬の未来

Ubie 株式会社  
阿部 吉倫

## &lt;エナジーブレイク&gt;

## 医薬品開発における自然言語処理の未来と業務プロセスの全体最適化

Deep Intelligent Pharma株式会社  
山本 晋也

## 続・AI医療機器の開発と臨床応用への展望 (仮題)

東京慈恵会医科大学  
中田 典生

## 総合討論

本セッションの講演者

## 15:45-15:55 コーヒーブレイク

## 15:55-17:45 セッション3

## 本質的な人の役割とやるべきこととは

座長

株式会社インタープロフェッショナル  
冠 和宏東京大学医科学研究所  
湯地 晃一郎

【「人」の役割とそこへの期待】

資本・資金、科学技術やインフラストラクチャー、そして「人」の創造性や社会的知性。これらは、世界の発展を牽引するドライバーの三要素である。産業ビッグバンや組織マネジメント、イノベーションのエリアでも不可欠な要素であり、労働集約型モデルからの脱却を図ろうとしたとき、より複雑化した現在のビジネスモデル、また更に複雑化するであろう将来の産業モデルを考えたとき、「人」の役割はどのようになるのだろうか。よりよい社会を創り上げていくために、「人」として何を考え、何を学び、何を実践していく必要があるのだろうか。ヘルスケアエリアのみならず、産学官のリーダー、経営学・社会学のエキスパートたちと共に、「人」の役割について徹底的に議論したい。

## 転換期に必要な人の智の融合～本当に人がやるべきこととは～

株式会社イメージプラン  
田口 佳史

## 医療の価値と人的資本の果たす役割～ヘルスエコノミクスの視点から～

慶應義塾大学大学院(Keio Business School)  
後藤 励

## &lt;エナジーブレイク&gt;

## パネルディスカッション

## 本セッションの講演者および

アステラス製薬株式会社  
金山 基浩東京慈恵会医科大学  
中田 典生塩野義製薬株式会社  
澤田 拓子独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
宇山 佳明

## 17:45-17:55 閉会の挨拶

プログラム委員 / ヤンセンファーマ株式会社  
森谷 隆

## 18:00-19:30 情報交換会

別途開催を検討しています。決定しましたら参加者にご連絡します。

特に公表しない限り、本シンポジウムにて発表される内容は発表者本人の見解であり、所属する組織、あるいはDIAのものとは限りません。

発表者および講演タイトルは予告なく変更されることがあります。

書面における合意なく、DIAイベントの情報を録音することは、いかなる形態であっても禁止されています。

## 第17回 DIA 日本年会 2020

Beyond Innovation

イノベーションの先にあるもの

2020年11月8日(日)-10日(火)  
東京ビッグサイト | 有明

DIA



# 会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン

Fax:03-3278-1313

WEB開催(Webinar)

DIA Japan “Cutting Edgeシリーズ”～医薬開発におけるAI・デジタル技術シンポジウム～

AI・デジタル技術の革新とヘルスケア産業の未来 -医療情報のコネクティビティと世界調和を考える [カンファレンスID #20317]

2020年6月30日(火) | Web開催(Webinar)

## ◆ 参加申込方法

DIAウェブサイト(www.DIAglobal.org)よりお申し込み頂くか、この申込書に必要な事項をご記入の上、FAXまたはメール添付Japan@DIAglobal.orgにてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。

## ◆ 参加費用 (該当する□にチェックしてください)

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいたから翌年同月末まで1年間有効です。DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典も得られます。不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

①年会費: 現在会員でない方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

\*参加費の早期割引価格は現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみに適用されます。会員資格が失効している方および非会員の方は、ぜひこの機会にぜひご登録ください。

\*\*アカデミア会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでFAXもしくはメールにてお送りください。

Membership (有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 17,500 (税抜)	¥ 19,250 (税込)
2-Year Membership (有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 31,500 (税抜)	¥ 34,650 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 12,000 (税抜)	¥ 13,200 (税込)

②参加費: 所属カテゴリと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

会員	一般	早期割引:2020年6月16日までの申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 24,000 (税抜)	¥ 26,400 (税込)
		2020年6月17日以降の申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 26,000 (税抜)	¥ 28,600 (税込)
非会員	政府関係 非営利団体 大学関係	早期割引:2020年6月16日までの申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 11,000 (税抜)	¥ 12,100 (税込)
		2020年6月17日以降の申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 12,500 (税抜)	¥ 13,750 (税込)
非会員	一般	<input type="checkbox"/>	¥ 32,750 (税抜)	¥ 36,025 (税込)	
	政府関係/非営利団体	<input type="checkbox"/>	¥ 20,750 (税抜)	¥ 22,825 (税込)	
	大学関係	<input type="checkbox"/>	¥ 18,000 (税抜)	¥ 19,800 (税込)	

③合計金額(①+②): 合計 \_\_\_\_\_ 円

\*最終確定金額は、DIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください。

## ◆ お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

[支払方法] 銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振り込み手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(どちらか1つにチェック) VISA MasterCard JCB

カード有効期限(mm/yy) \_\_\_\_\_ カード番号 \_\_\_\_\_

カードご名義 \_\_\_\_\_ ご署名 \_\_\_\_\_

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名もしくは請求書番号を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担でお願いいたします。

DIA Japan 使用欄	
Date	
No.	
受領書 送付	
Invoice	
入金	

**Web開催決定前に申し込まれた方には、登録料の差額のご連絡いたします。**

## アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name ( 姓 )  Dr.  Mr.  Ms. First name ( 名 ) \_\_\_\_\_ Company \_\_\_\_\_

Job Title \_\_\_\_\_ Department \_\_\_\_\_

Address \_\_\_\_\_ City \_\_\_\_\_ State \_\_\_\_\_ Zip/Postal \_\_\_\_\_ Country \_\_\_\_\_

email ( 必須 ) \_\_\_\_\_ Phone Number ( 必須 ) \_\_\_\_\_ Fax Number \_\_\_\_\_

\* 参加のキャンセルは、お申し込み受理後、**2020年6月24日**までは手数料として一般会員・非会員とも10,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも5,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。**同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)**参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。

\* DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加・視聴いただくよう、お願いしております。

\* 本会議の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを許諾するものとします。

【DIAが取り扱う個人情報について】 お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したプログラム関係者(講演者、プログラム委員)に限り配布いたします。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取扱いご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。